

いのちの葉

ここに居ていいんだよ

水之江陽子

目次

「ご縁をしみじみと味わう」	4
「あたりまえ」ではない	8
「人に迷惑かけない」って	13
九州北部豪雨の被災地から	18
そのままがいい	22
日々を大切に生きる	27
悲しみの涙、喜びの涙	32
ここに居ていいんだよ	37
迷いのままに 煩惱を抱えたままに	42
南無阿弥陀仏と、私のために	46

ご縁をしみじみと味わう

あれもご縁 これもご縁

困ったこともみんなご縁

南無阿弥陀仏に遇うご縁

あるお寺の伝道掲示板より

寂しい想いのたび

少し前の春の彼岸会の頃、ご法話に寄せていただいたお寺の掲示板で、この言葉と出会いました。

聞けば、そのお寺では、ご門徒の方が法語を選んで、毎月、黒々とした墨で板書しておられるとのことでした。

この法語を選ばれた方は、家族を見送る中でお寺へのお参りを重ね、自然と手が合わさっていくことがうれしいと、話してくださいました。お寺に来て、いろんなお手伝いをするのが私の喜びなのだと言ったお顔が、とても輝いて見えました。

「寂しい思い、つらい思いをするたびに、南無阿弥陀仏なむあみだぶつに出遇わせていただいていると思うと、何となく寂しさやつらさが和らぎますね」とお話しさせていただきました。

仏さまの願い

人は、一人では生きていけません。支え合い、助け合い、想い合い、繋がりがあって、私たちは生きています。

その、一つ一つの結びつきや出会いを、「ご縁」と呼びます。人と人との繋がりが、モノや言葉との出会い、さまざまな出来事……それはうれしい、楽しいことばかりではありません。むしろ、苦しくて悲しくてつらいことの方が多いような気がします。

そんな私の苦しみに「苦しいね」と、悲しみに「悲しいね」と、喜びに「うれしいね」と、私の心そのままに、かならず救う、助けるから安心して生きてくれよ、と願ってくださっているのが、阿弥陀如来という仏さまです。

阿弥陀さまは、「南無阿弥陀仏」というお姿で、私の口からお出ましくさいます。私の口は普段、愚痴ぐちや不平や不満、人さまの悪口や噂話、自慢や嘘や怒りに任せて、お聞かせできない言葉ばかりに使われています。その同じ口からいつのまにか南無阿弥陀仏という仏さまのお名前こぼが零れてくださるのは、私の力ではありません。そのことを、しみじみと「ご縁だなあ」と有り難く思います。

日々の生活の中で、困ったことになったと頭を抱えることがあります。しかし、その姿のまま、まさに、いま、このとき、南無阿弥陀仏に遇わせていただいているのだと、一人、お念仏を聞かせていただいている私でありました。